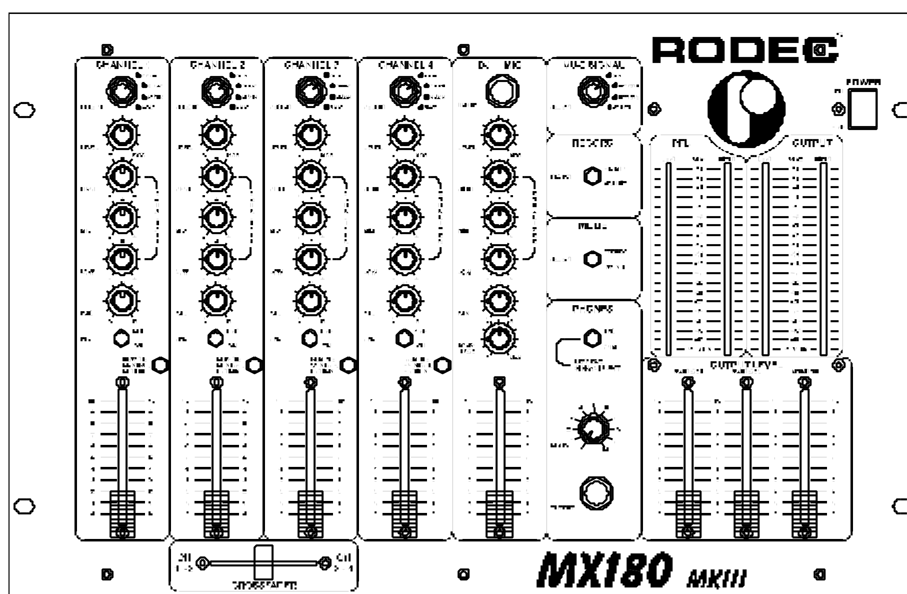



# MX180 MKIII

## ユーザーマニュアル








株式会社サウンドハウス
Professional Sound Equipment Specialist
〒286-0044 千葉県成田市不動ケ岡 1958
TEL:0476-22-9333 FAX:0476-22-9334

## SPECIFICATIONS

| 入力 | 入力感度 | S/N比 | 備考 |
|---|---|---|---|
| PHONO 1-4 | 2.3mV/50k? | < -80dB | RIAA correction |
| MD/AUX 1-4 | 220mV/50k? | < -92dB | |
| CD/DAT 1-4 | 220mV/50k? | < -92dB | |
| MIC 1-4 symm. | 4.0mV/4k? | < -83dB | |
| MIC DJ symm. | 0.7mV/1.2k? | < -85dB | |
| assym. | 0.5mV/22k? | < -89dB | |
| **出力** | **出力感度** | | |
| Master 1 symm. | 3.3V/600? | | Subsonic filter |
| Master 2 assymm. | 1.55V/10k? | | Subsonic filter |
| Monitor assym. | 775mV/10k? | | Subsonic filter |
| Recording 1-4 | 500mV/10k? | | Recording out selector |
| Phones | 12V/600? | | Phones 200-600? |

- トーンコントロール: Bass +/-13dB @ 100Hz
  Middle +/-13dB @ 1kHz
  High +/-13dB @ 10kHz
- サブソニック・フィルター -25dB @ 10Hz
- 電源: 100V-117V / 50Hz-60Hz
- ヒューズ: T500mA
- 消費電力: OFF=2.0VA ON=34.5VA
- Approbation: CE-approved
- 寸法: フロント: 482mm x 310mm (19” x 7U)
  シャーシ: 444mm x 295mm x 150mm
- 重量: 7.4kg

このたびはRODECミキサー、MX180MKIIIをお買い上げいただき、誠に有難うございます。製品の性能をフルに活用し末永くお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、お読みになった後は保証書と一緒に大切に保存してください。

## SAFETY INSTRUCTIONS　安全上のご注意

1) 雨天や湿気の多いところで製品を保管/使用しないでください。本体に液体をこぼしたり、金属片などが機材内部に入らないようご注意ください。電気ショックの原因となる恐れがあります。本体内部に異物が混入した場合、電源ケーブルを抜いてください。

2) 損傷のあるケーブルやプラグを使用すると、火災や電気ショックが発生する恐れがあります。電源ケーブルを傷めないようご注意ください。電源ケーブルをコンセントから抜く際は、必ずプラグ部分を持ち、ケーブル部分を持ってプラグを引き抜かないでください。

3) お客様自身で交換/修理可能な部品はありませんので、本体を解体しないでください。本体に不具合が生じた場合は正規輸入代理店か、販売店にご相談ください。

4) 定格電圧（100V-117V / 50Hz-60Hz）を守ってお使いください。

5) 本体の清掃に薬品は使用しないでください。損傷の原因となるため、フェーダーに接点復活剤などを使用しないでください。

## INSTALLATION OF THE MIXING PANEL　本体の設置

1) MX180MKIII は DJ ブースに置くか、ラックマウントして設置できます。

2) 直射日光の当る場所、ホコリや湿気の多い場所での設置は避けてください。

3) 干渉の恐れのある電気機材のそばに設置しないでください。

## FRONTPANEL, SWITCHES AND CONTROL　フロントパネル、スイッチ、コントロール

1) **Power switch**　電源スイッチ
本体に AC 電源を供給します。スイッチを押すと本体の電源が ON になり、再度押すと OFF になります。

2) **Power "ON" on indicators**　電源 **ON** インジケーター
本体の電源が ON の場合、インジケーターが点灯します。

3) **VU meters　VU** メーター
左側の VU メーター×2 は PFL もしくはスプリット信号を表示します。VU-2 信号セレクトスイッチ（4）の設定に従い、右側の VU メーターには出力信号レベルが表示されます。

4) **VU-2 signal select switch　VU2** 信号セレクトスイッチ
右側の VU メーター×2 に表示されるチャンネル信号を選択します。スイッチが SUM（合計）に設定されている場合、全てのチャンネル信号のミックスが表示されます。MASTER1、MASTER2 および MONITOR に設定すると、対応する出力信号が表示されます。

5) **Mode Switch**　モードスイッチ
MX180MKIII のモノラル/ステレオ・モードを選択します。モニター出力には影響しません。

6) **Phones output**　フォン出力
ヘッドフォン・モニター用の出力端子です。PFL スイッチを使用して、出力信号を変更することなく接続された音源や出力（スプリットモード時）をモニターすることができます（ヘッドフォン 200〜600Ω）。

7) **Phones control**　フォンコントロール
このボタンでヘッドフォンのボリューム設定を行います。

8) **Left ear signal select switch**　左耳　信号セレクトスイッチ
このスイッチでヘッドフォンの左耳でモニターできるサウンドを PFL とミックス信号の二つから選択できます。ヘッドフォンの右耳および左側の PFL VU メーターには PFL 信号が表示されます。

9) **PFL switches　PFL** スイッチ
このスイッチを使ってヘッドフォンから聞こえる入力ソースを選択することができます。

10) **Input selector**　入力セレクター
このスイッチで入力信号を選択します： PHONO/AUX/CD/DAT/MD/MICROPHONE.

11) **Level adjuster**　レベル調節
各入力の信号レベルを調整します。

12) **Equalizer controls**　イコライザー・コントロール
高域、中域、低域レベルをコントロールします。

13) **Balance-Pan control バランス/PAN コントロール**
このつまみを使い、ステレオ L/R の信号量を調整します。このつまみを中央に設定すると、左右チャンネルのゲイン量は同等になります。

14) **Channel faders チャンネルフェーダー**
各入力端子の音量をコントロールします。

15) **Remote control switch option リモートコントロール・スイッチ・オプション**
MX180MKIII に接続された機材のスタート/ストップを MX180MKIII のこのスイッチでコントロールできます。

16) **DJ micro input DJ マイク入力**
DJ マイク入力端子。

17) **Level adjuster レベル調節**
マイク入力のレベル調整を行います。

18) **Equalizer イコライザー**
DJ マイク用のトーン・コントロールです。

19) **Pan Mic PAN マイク**
DJ マイク入力用パノラマ式コントロール。このボタンでマイク信号の L/R バランスを調節できます。

20) **Talk-over control トークオーバー・コントロール**
ステージ/ゲイン・コントロール（可変）により、音声信号のコンプレッションが均一に行えます。

21) **DJ mike fader DJ マイクフェーダー**
DJ マイク用のボリュームコントロールです。

22) **Master output fader マスター出力フェーダー**
スレーブおよびアンプに出力するマスター信号レベルを調整します。

23) **Monitor output fader モニター出力フェーダー**
モニター出力信号のレベルをコントロールします。この出力に DJ マイク信号は含まれません。

24) **Record Select レコード・セレクト**
DJ マイクを使用して録音を行う場合、マイクを使用しないで録音する場合にもこのスイッチを使用します。

+ DJ MIC : レコード・セレクトをこの位置に設定すると、DJ マイク信号も録音されます。
- DJ MIC : レコード・セレクトをこの位置に設定すると、チャンネル 1-4 信号のみが録音されます（DJ マイク信号は録音されません）。
レコード・セレクト設定はマスター出力には影響しません。

25) **Crossfader クロスフェーダー**
このフェーダーを使ってチャンネル 1-2 および 3-4 の切替が簡単に行えます。フェーダーを一番左端に設定すると、チャンネル 1-2 が出力されます。反対にフェーダーが一番右側に設定されるとチャンネル 3-4 が出力されます。

## CONNECTIONS 接続

A) **PHONO input** フォノ入力
フォノ入力の入力感度は 2.3mV、RIAA 修正機能を搭載しています。

B) **Ground** アース
ターンテーブルにアースが搭載されている場合、アース端子に接続してください。

C) **MD/AUX input MD/AUX** 入力
入力感度 220mV。この端子にチューナー、MD、カセットレコーダーまたは HIFI ビデオデッキなどを接続します。

D) **CD/DAT input CD/DAT** 入力
CD/DAT デッキを接続します。

E) **Micro input** マイク入力
バランス仕様マイク入力です。マイクケーブルでの干渉を防止する為、バランス出力マイクを使用してください。

F) **Recording outputs** レコーディング出力
この出力端子をカセットレコーダーおよび HIFI ビデオデッキに接続してください。この出力は DJ マイク信号の有無に関わらず使用できます。

G) **DJ mike input DJ** マイク入力
入力感度 0.7mV のバランス仕様マイク入力です。この入力端子はフロントパネル上の DJ マイク入力（16）と一緒に使用します。フロントパネル上の入力（16）のほうが、リアパネル上の入力端子（G）に優先されます。

H) **Effects INSERT** エフェクト・インサート
マイクチャンネルにエフェクターを接続する為のインサート端子です。この入出力端子の感度は 160mV です。

I) **Master output 1** マスター出力 **1**
パワーアンプ接続用の出力端子（左右対称）です。マスターフェーダー1（22）を使い、0～3.3V の範囲で出力レベルを調整できます。

J) **Master output 2** マスター出力 **2**
パワーアンプ接続用の出力端子（左右非対称）です。マスターフェーダー1(22)を使い、0～1.55V の範囲で出力レベルを調整できます。

K) **Monitor output** モニター出力
モニター用の予備出力端子です。モニターフェーダー(23)を使い、出力電圧を 0～775mV の範囲で調整できます。コンプレッサー、DJ マイクおよびモノラル/ステレオスイッチがこの出力に影響を及ぼすことはありません。

L) **Remote control terminal option** リモートコントロール・ターミナルオプション
外部のプレーヤーの再生/停止を制御する際に接続します。

M) **Second headphones connector** 予備ヘッドフォン・コネクター
フロントパネル上のヘッドフォン出力（6）と全く同じ信号をこの端子でモニターすることができます。ただし、フロントパネル上のヘッドフォン出力端子が使用中の場合、この機能は使用できません。予備ヘッドフォン・コネクターの使用はフロントパネル上のヘッドフォン出力と全く同様です。

入出力に使用するケーブルは1メートルを越えないようにして下さい。

## OPERATING INSTRUCTIONS　操作

1) まずミキサーに接続された音源（CD プレーヤー、ターンテーブル）のスイッチを ON にして下さい。次に MX180MKIII の電源スイッチ(1)を ON にします。電源インジケーター(2)が点灯し、数秒後にミキサーのパネルが操作可能になります。ここでパワーアンプを ON にして下さい。

2) ヘッドフォンをフォン出力端子(6)、もしくは（M）に接続してください。

3) 入力スイッチ（10）で適切な音源を選択します。

4) PFL ボタン(9)を ON に設定し、任意の音源が聞こえるようにします。左耳信号セレクトスイッチ(8)が PFL に設定されていることを確認してください。これでヘッドフォンからステレオ信号を聴くことができます。また左側 VU メーター×2 にもステレオ信号が表示されます。PFL 回路は SUM システムとして作動する為、同時に複数の音源をモニター可能です。いかなるモニタリングを行っても最終的な出力信号には何の影響もありません。レベルコントロール(11)で入力信号レベルを調節し、レベルメーター(3)の赤インジケーターが時々点灯する程度に設定してください。必要に応じてイコライザー(12)で音質を変えてください。

<u>ご注意：</u>　各入力に搭載されている EQ は音源ソースの音質を個別に調整するものです。全体の音質を加工したい場合、外部イコライザーを使用する事をお勧めします。

5) 選択した音源のフェーダー（14）を上げます。
6) マスター・ボリューム（22）を設定します。
7) 必要であればバランス/PAN コントロール（13）を調節します。音声をモノラルにしたい場合、モードスイッチ(5)をモノラルに設定してください。

8) 音源を変更したい場合、3)～5)の手順を繰り返してください。

9) マイク信号を追加するには、マイクを MIC 入力（16）もしくは（G）入力に接続してください。(16)の入力が（G）入力に優先されます。レベルコントロール(17)とトークオーバー（20）をゼロに設定し、MIC フェーダー(21)を最大レベルに引き上げます。次にレベルボタン(17)でマイク音量を調節してください。イコライザー（18）でマイクの音質を調整します。トークオーバー機能を使用するには、トークオーバーボタン（20）を調整する必要があります（0=ゲイン削減なし、10 ゲインを 100%削減）。PAN MIC（19）を使えば、DJ マイク信号を L/R 間に挿入できます。

10) ミックス信号を録音したい場合、レコード端子（F）にレコーダーを接続するだけで OK です。レコード・セレクト・スイッチ（24）の設定により、マイク信号を録音信号に含めることも、除外することも可能です。

11) 右側の VU メーターには VU2 信号セレクトスイッチ（4）で選択した信号が表示されます。ヘッドフォンや左 VU メーターで PRE FADER 信号と出力信号を比較したい場合、スイッチ(4)を SUM に設定してください。SUM に設定することにより、PFL 信号が左 VU メーター×2 に表示され、出力信号がほかの VU メーターに表示されます。

12) モニタースピーカーを使用したい場合、モニター出力（K）を使用してください。この出力には DJ マイク信号が送信されない為、スピーカーからマイクへのフィードバックノイズを防止することができます。

## SUBSONIC FILTER　サブソニック・フィルター

マスター出力×2 とモニター出力にはサブソニック・フィルターが搭載されており、低域スピーカーを DC やサブソニック信号による損傷から保護します。このフィルターを解除することはできません。フィルターにより、10Hz で 25dB カットされます。

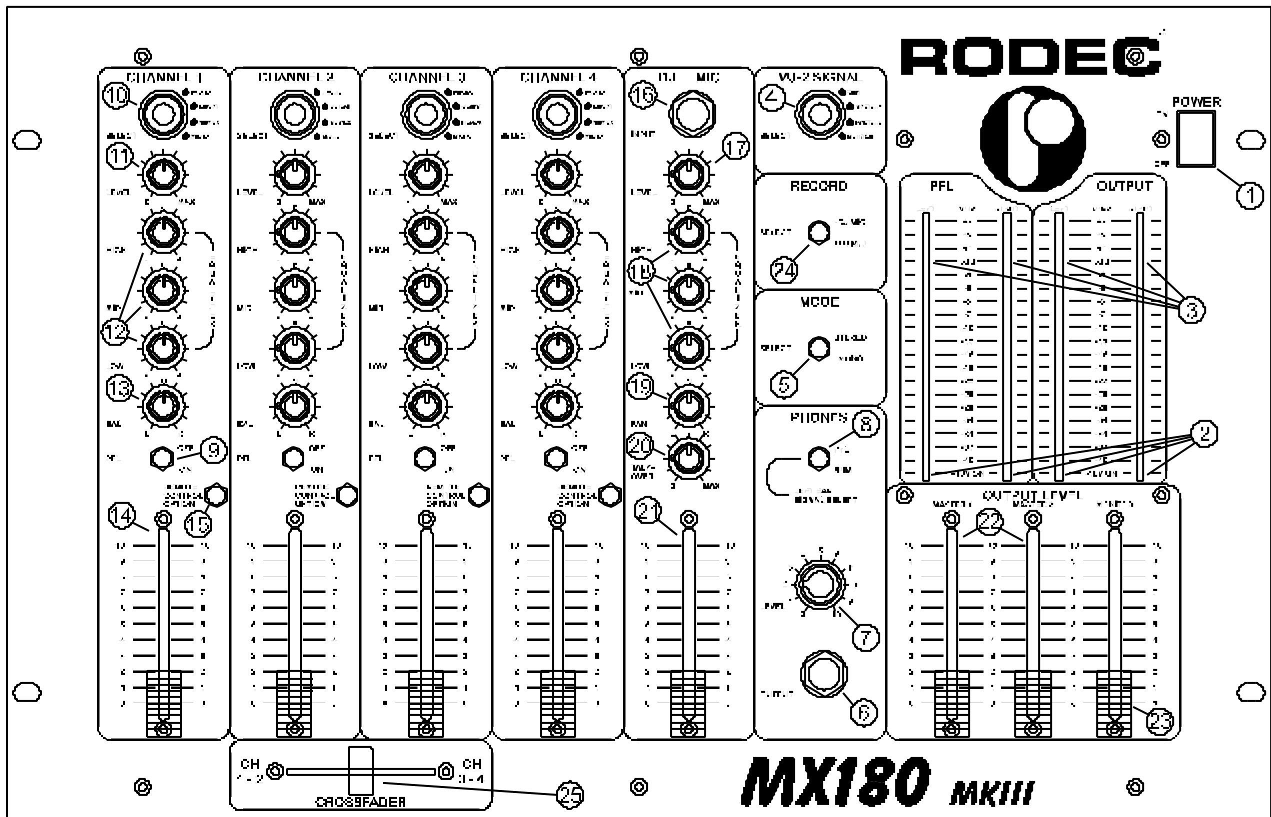
**REMOTE CONTROL SWITCH OPTION**　リモートコントロール・スイッチオプション

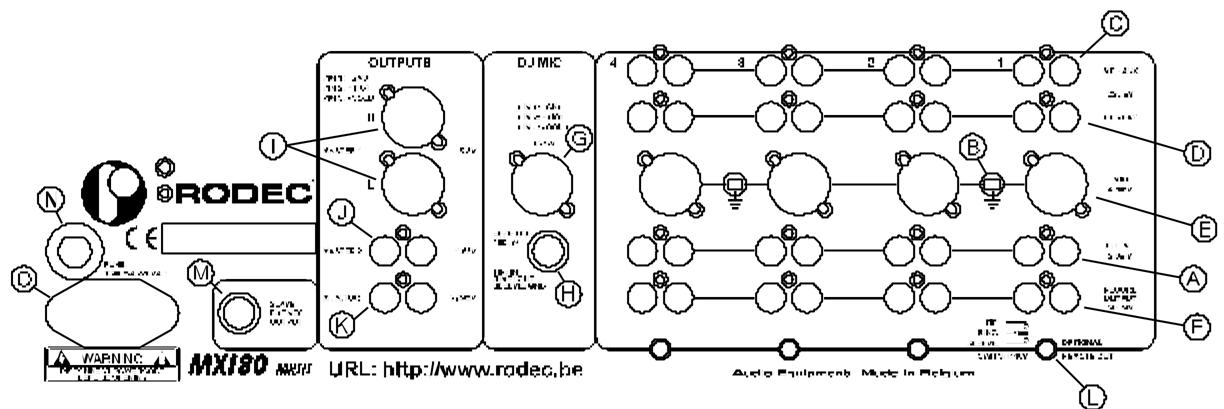
リモートコントロール・スイッチを使えば、1 チャネルで 1 つの外部機材を遠隔操作できます。

スイッチ(15)には 3 つのオプションがあります: 1) rest
2) push up
3) push down

以上 3 ポジションを使えば、外部機材の機能を 2 系統コントロール可能です。
例：
- 1 ポジションにより、ターンテーブルをスタート/ストップできます。
- リモートコントロール対応のカセットリコーダーの場合、スイッチを ON にすることで録音を開始できます。またスイッチを OFF にすれば録音がストップします。

外部機材と MX180MKIII の接続方法に関しては、各機材のマニュアルを参照ください。


RODEC
POWER
CHANNEL 1
CHANNEL 2
CHANNEL 3
CHANNEL 4
DJ MIC
VU-2 SIGNAL
RECORD
MODE
PHONES
PFL
OUTPUT
OUTPUT LEVEL
CH 1-2
CH 3-4
CROSSFADER
MX180 MKIII


OUTPUTS
DJ MIC
RODEC
WARNING
MX180 MKIII
URL: http://www.rodec.be
Audio Equipment Made in Belgium

Manufactured by: **TRANSTEL SABIMA Ltd.**
Duboisstraat 48
B-2060 Antwerpen
Belgium

Phone: 00 32(0)3/237-36-07
Fax: 00 32(0)3/216-97-62
URL: http://www.rodec.be
e-mail: info@rodec.be